

スポーガ+ガーファ (spoga+gafa) / 国際ガーデン専門見本市

2013年9月8日(日)～10日(火)
ドイツ連邦共和国ケルンメッセ会場

スポーガ+ガーファ 2013: 堅調な中にも上向き傾向
国際ガーデン専門見本市：来場者微増で閉幕

2013年のスポーガ+ガーファは十分な成果を残して9月10日に終了しました。今年は世界116カ国から計36,800人の来場者がケルン会場を訪れました。「スポーガ+ガーファは、国際的なガーデン見本市としての役割を今回も確実なものとししました」と説明するのは、ケルンメッセ副社長のカタリーナ・C・ハマ氏です。「来場者の出身国が前回よりも増えました。今年のカンファレンス・レジャー業界ではシーズンの出足が鈍かっただけに、満足できる結果と言えるでしょう」と話しています。計1,817社が新製品、特定のテーマ、トレンドなどを展示し、出展者数における海外企業の比率は82%を占めました。

会場では屋外での時間をより美しく、より良く、快適にするための多様な製品が出展されました。出展者のうち700社が**ガーデン家具**を展示し、ガーデン家具は出展全製品群の中でも最大分野となりました。その材質も竹、コンクリート、屋外でも使えるレザーなど多岐にわたっています。サステナビリティとヴィンテージ志向を背景に、チーク材も再び人気を集めました。ガーデン家具の生地の外観が改善され、手触りがさらに心地良くなったことも特徴です。

ガーデン家具に新しい展示コンセプトが求められていること、また関連製品とのシナジーをより効果的に活用する目的で、今年は**“ハイエンドのガーデン家具”**がホール10.2に移ってグレードアップしました。**“garden unique”**部門も同様に会場を移動し、高級でデザイン志向、レベルの高い構成で出展者とビジターの双方を納得させていました。今回初めてプロトタイプとして併設された若手デザイナー・コンテストも大きな関心を集めました。テーマは**“アウトドア・リビング”**で、24カ国から計62のプロジェクトが寄せられ、最高賞の**“ユニーク・ヤングスター2013”**が選出されました。様々な国籍の専門家で構成する審査員団が選んだのは、クリエイティブな折りたたみ式ポート**“Ar Vag”**をデザインしたThibault Penven氏(スイス)です。また、来場者による特別賞**“unique hour”**賞も設けられ、多数の来場者がオンライン投票に参加しました。「アウトドア・リビング」のテーマで15のプロジェクトがノミネートされ、533票が投じられた結果、超軽量の携帯用バーベキュー器具**“Stakes”**をデザインしたRoee Magdassi氏(イスラエル)が最多票を獲得して受賞しました。

今回は**デコレーション部門**がさらに充実し、出展者数も増加しました。ホール9と10.1では多数の新製品と、文字通りカラフルで包括的な出展内容が来場者にアピールしました。ガーデン家具と同様、デコレーションという点でも**“Colour Clash”**のテーマが明確に感じられます。このトレンドは来シーズンも世界中のテラスやバルコニー、庭などで展開されることになるでしょう。色鮮やかなクッション、花瓶、食器、テキスタイルなども豊富で、これまで室内用とされていたインテリアが屋外に出る傾向が強まり、屋外での過ごし方に優雅さと現代的なタッチを添えています。

“garden living”の部門も今年、**“Grill & BBQ”**分野の新製品や**キャンピング、レジャー、スポーツや遊び**関連の製品展示により、さらに充実しました。ホール内での展示だけでな

く、グリルパークやメッセ大通り（Messeboulevard）に設営されたサーフシミュレーターなどのインスタレーションも、展示の多様化に貢献していました。

今回、特設パークでは色とりどりの花や植物がふんだんに展示されました。“Plantregio Rhein-Maas e.V.”および“The Green Connection”の2団体に属する20社が造園を担当、“**garden creation**”のテーマにふさわしいスペースを創出しました。そのすぐ近くで、多数の出展者が庭づくりに役立つ新製品、また造園プランに欠かせない製品の数々を展示しました。庭仕事用具、物置小屋、器具と付属物、水に関連する製品、照明などです。たとえば照明では、2014年はソーラー照明器具がトレンドとなり、品質が良くデザイン性の高いものが好まれるでしょう。庭仕事の用具では、さらに使い心地のよいものが普及しそうです。刈り込み機や鋏は使う人に応じてグリップの高さを調節でき、エルゴノミーに対応したものになる見込みです。また、**garden care** 部門では、重い土の運搬がすっかり過去の話になるような省力化器具など、家庭用の庭仕事で使われる新製品に焦点が当てられました。

来場者の高い満足感

多数の大手企業による品質の高い製品展示とバラエティに富んだ併設プログラムが来場者を終始ひきつけ、会場の雰囲気は良好でした。出展者の間では「世界中から重要なメーカーや商社が多数のブースを来訪し、満足してくれた」という声が多勢でした。来場者アンケートもこれを裏付けています。回答者の75%が購買の意思決定に関与しており、47%は意思決定者でした。

見本市を名誉協賛したドイツスポーツ用品産業連盟（BSI）も、今回の成果を高く評価しています。「今年のヨーロッパは春の訪れが遅く、ドイツのガーデン、レジャー、ウォータースポーツ関連メーカーの業績もシーズン出足は低調だったのですが、6月半ばからは好天の夏が続いたため、各社は初期のマイナスを十分に相殺することができました」と話すのは、**スポーガ諮問委員会委員長のデジレ・デーリン＝ホルツアプフェル氏**です。「2013年のスポーガ+ガーファが業界に良い刺激を与えてくれました。これで自信をもって2014年に向けて事業を展開できます」。

同様に協賛のガーデン産業連盟（IVG）は、次のように今年のスポーガ+ガーファを評価しています。「シーズン開始が遅れただけに、この見本市にはとりわけ満足しています。当連盟の会員企業からは、ブースが来場者で賑わい、充実した商談が行われたと聞いています。また、東欧からの来場者が多かったことも喜ばれていました。スポーガ+ガーファが終わった今、来年のシーズンを楽観的に予測することができます」と**ガーファ諮問委員会委員長のハンス＝ユルゲン・リール氏**は述べています。また、「当連盟が今回初めてガーデンパーティーを催して大成功を収め、業界親睦のプラットフォームとして活用されました。今後も毎年開催することになります」ともコメントしています。

スポーガ+ガーファ 2013 出展者の声

ペーター・O・ヴェュスト氏

ドイツ DIY ホームセンター・ガーデニングセンター連盟（BHB）専務理事

「今年のスポーガ+ガーファの展示内容は、例年にも増してトレンドに対応していました。アウトドア、ガーデン、そしてレジャー用の製品はますます多様に、幅広くなりつつあります。これに応じて各ホールでの展示内容も多面的に、多彩になってきています。特に顕著だったのは、アジアの出展者の展示レベルが上がったことでした。ネットワーキングのプラッ

トフォームとしてのスポーガ+ガーファはその役割を十分に果たしたのです！ただ、技術と機械分野の展示がほとんどなかったことは残念です」

ノーベルト・L・イエドラウ氏、バーベキュー産業連盟グリル (BIAG) 事務局長

「グリルパークは今年も盛況でした。当連盟のほとんどすべての会員企業の役員が立ち寄りました。グリルパークの新しいレイアウトは会員企業にも好評で、情報交換の場として多いに役立ったと思います。海外から多数の専門ビジターが来場しました。スポーガ+ガーファ2013には全般的に満足しています」

ジョン・W・ハーバート氏、欧州 DIY 小売業連盟 (EDRA) 事務局長

「当ブースには世界トップクラスのバイヤーが 110 人訪れ、昨年よりさらに増えました。中でも、今回初めての来訪者が多かったことを喜んでます。会員企業の反応も総じてポジティブでした。技術革新と新製品が高く評価されました。ビジターの国際性の豊かさとレベルの高さも印象に残っています」

ペーター・ボッツ氏 ドイツガーデンセンター連盟 (VDG) 事務局長

「シーズン開始が遅れたことで、今回の見本市もあまり盛り上がりがないのではと予想していました。それだけに、その正反対の結果に終わったことをうれしく思います。会場は良いムードでした。来場者の数も多かったのですが、これは当ブースのあるホールと、充実した併設プログラムが開催された特設パークの接続が改善されたことが奏功したと思います。スポーガ+ガーファには満足しています」

包括的な製品展示が来場者にも評価され、来場者へのアンケートでは 75%が展示内容を(非常に)「良い」と評価しました。回答者の 86%が、ビジネスパートナーにスポーガ+ガーファへの入場を薦めると答えています。専門ビジターの 74%が来場目的を果たすことができ満足、または非常に満足と回答しました。

スポーガ+ガーファ2013データ

- ・ 出展者数：58カ国1,817社(2012年実績：56カ国1,975社)。うち1,449社(2012年1,571社)と代理店49社(同36社)が外国企業。ドイツ企業は311社(同360社)と代理店8社(同8社)。
- ・ 来場者数：116カ国36,800人(2012年実績：103カ国36,300人)。うち外国人の比率 58%(同58%)。

次回のスポーガ+ガーファ/国際ガーデン専門見本市は、2014年8月31日(日)~9月2日(火)にケルンメッセ会場で開催されます。詳しくはこちらをご覧ください。www.spogagafa.com

スポーガ+ガーファに関するお問い合わせは:

ケルンメッセ株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6 恵比寿ISビル5F

Tel: 03-5793-7770 / Fax: 03-5793-7771

E-mail: kmjpn@koelnmesse.jp URL: www.koelnmesse.jp